

## 平成 24 年度 認定ケアマネジャーの会事業計画

### 1. 本年度の活動方針

平成 23 年度までの認定ケアマネジャー資格取得者総数は、782 名であって、認定ケアマネジャーの会（以下本会という）の会員数は 503 名となっている。

平成 24 年度は、23 年度までこれら会員を対象に実施してきたスーパーバイザー養成講座の内容を見直し、新たに、「ケアマネジメントキャリアアップ講座～めざそうスーパーバイザー～」とし、より実践的な講座として充実化を図ることとする。

昨年度までのスーパーバイザー養成講座は、参加を認定ケアマネジャーの会会員に限定したことにより、参加者が著しく減少したことに鑑み、今年度の研修会においては、本会員のみならず日本ケアマネジメント学会会員以外の非会員からも参加者を募ることとした。このことにより、本学会及び認定ケアマネジャーについて多くの人に周知されることになるとともに、入会の動機付けになることが期待される。また、受講する場合は、5 段階の STEP 順にはこだわらず、どの STEP から受講可能とし、更に参加費を安くし、研修日は今迄 1.5 日だったものを 5 段階全て土曜日 1 日のみに改め、参加しやすい研修会とすることとした。

学会研究大会・学術集会等での発表支援を目的とした「学会発表支援塾」については、受講要請も高いため引き続き開催を行う。対象者は上記と同様とし、発表が未経験の参加者でも段階を踏んだ研修を受講することで、研究発表ができる内容とする。

調査研究については、主任介護支援専門員の意識調査を実施し、提言ができるようにする。

一方、学会主催研究大会の参画及び実施プログラムへの協力を行うとともに、学会が後援を行う研究会等への支援を通じて、広く認定ケアマネジャーの理解を得られるよう積極的に活動を行う。

### 2. 事業内容

#### (1) 「認定ケアマネジャーの会」総会の開催

本会の総会は、本年 7 月 14 日第 11 回研究大会開催に合わせ、広島国際会議場において開催する。

#### (2) 研修事業（別紙参照）

ア. ケアマネジメントキャリアアップ講座～めざそうスーパーバイザー～  
(STEP1～STEP5) の開催

イ. 認定ケアマネジャー全員を対象とした「全体研修会」の開催

この研修会は、第11回研究大会に合わせ開催する本会の総会後に開催する。

ウ. 「学会発表支援塾」研修会（入門編・実践編（1）（2））の開催

平成22年度に開講したこの研修会は、学会学術集会等において、事例研究発表ができるようその要領を学ぶことを目的に、引き続き開催する。

（3）厚生労働省老人保健健康推進等補助金事業実施への参加協力

今年度は、学会が事業主体となって行う「介護専門員に対するスーパービジョン実践としてのOJTのあり方に関する研究」事業及び、「主任介護支援専門員研修のあり方に関する研究（仮題）」事業への協力要請を受け、参加する。

（4）認定ケアマネジャー資格試験受験者の募集活動等

前年度に引き続き、認定ケアマネジャー受験に関するチラシの配布を行う等募集活動を行うと共に、併せて合格した非会員に対し学会入会への勧誘に努める。

（5）日本ケアマネジメント学会研究大会への協力

認定ケアマネジャーの会として、研究大会実行委員会等へ参画し、大会運営に協力する。

ア. 第11回研究大会（平成24年7月14日～15日）実行委員会への参画及び実施協力

イ. 第12回研究大会（平成25年6月5日～6日）実行委員会への "

ウ. 各地域開催研究大会・シンポジウム等に対する協力

（6）調査研究事業

主任介護支援専門員研修に関する意識調査を実施する。

（7）日本ケアマネジメント学会「認定ケアマネジャーの会人財バンク」の運営

学会及び認定ケアマネジャーの会に対して、講師等派遣の依頼があった場合に、その要請に応えることとする。

（8）その他の活動

本会の役員は、学会の理事、代議員及び委員会の委員等に委嘱されたことを受けて、学会運営に協力する。

ア. 日本ケアマネジメント学会理事（白木、高砂）

イ. 日本ケアマネジメント学会代議員（奥田、神谷、柴山、山崎）

ウ. 日本ケアマネジメント学会広報委員（高砂）

エ. 研修委員（高砂）

オ. 視覚認定制度検討委員（白木）

カ. 認定ケアマネジャー活動推進委員（白木・高砂）

キ. 資格認定委員会委員（白木、高砂、奥田、羽石）

ク. 認定ケアマネジャー試験委員（白木、柴山、山崎、羽石）

ケ. 第11回日本ケアマネジメント学会研究大会実行委員会委員（白木）

（9）理事会の開催

概ね5回開催する。

以上